

## Windows VISTA /7/8

スピードアップ対策に役立つ

# Ready Boost

■ Windows Ready Boost と言うと新しいソフトをダウンロード/インストールして・・・と思われるでしょうが、Windows Vista/7/8 の OS にあらかじめ組み込まれた機能でフラッシュメモリーなどの外部メモリーを使ってハードディスクドライブのキャッシュとして利用することで、ソフトウェアなどの読み込みを高速化するものです。従ってこの機能を使わない手はないと思います。

■ 使い方はいたって簡単

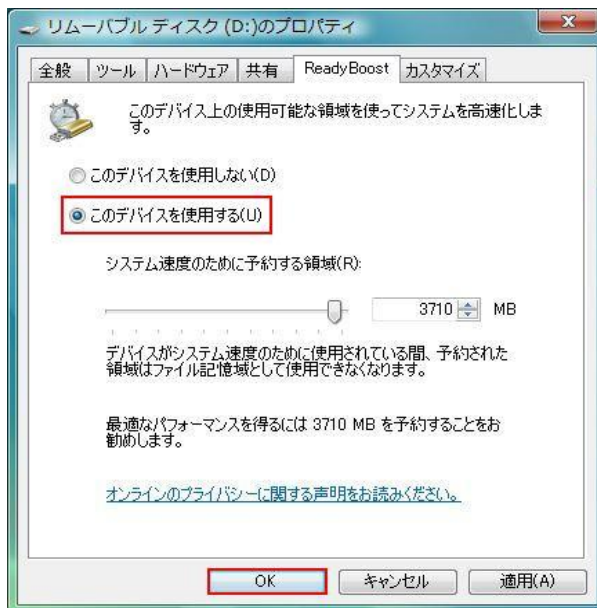
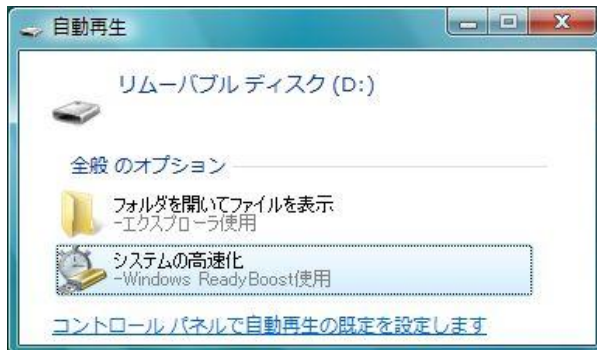
USB メモリーを用意する:条件として

1: Ver2.0 以上の高速タイプ 2: 容量は PC のメモリーの 2 倍以上 3: アクセスランプ付き

■ 手順は

① USB を PC 本体に装着する (出来れば PC 立ち上げた状態でアプリの不稼働状態)

② USB のプロパティを開き ReadyBoost のタブをクリック



USB フラッシュメモリーをパソコンに接続すると、「システムの高速化」という項目が出てきますのでクリックします。「このデバイスを使用する」にチェックを入れ OK。ReadyBoost で使用される領域の設定は、OS が自動で推奨設定を教えてくださいますので、そのまま変更せずに OK にして構いません。

通常のデータ記憶域としても併用したい場合は ReadyBoost の領域を狭くするといいでしょう。マイ推奨は搭載メモリーの 1 倍～3 倍です。

**ReadyBoost はこの作業だけで有効となります。**

USB フラッシュメモリーのドライブを開くと、ReadyBoost というアイコンが来ています。



ReadyBoost を無効にする場合は、設定画面から「このデバイスを使用しない」にチェックを入れ OK です。

以上